

心温かい人々が暮らす町

こどもの人権を守りましょう

いじめや体罰を理由に児童・生徒が自殺、親も養育放棄で乳幼児が衰弱死、児童ポルノをインターネットで販売した男性を逮捕……。こどもが被害者である報道の一部ですが、このように痛ましい事案が後を絶ちません。こども一人の人間として最大限に尊重され、守られなければなりません。一人ひとりの子どもたちが健やかな成長を保障されるために、こどもがどんな権利をもっているのかを定めたのが「子どもの権利条約」です。おとなへと成長する途中にあり、弱い立場にあるこどもたちには保護や配慮が必要な面もあるため、こどもならではの権利も定めています。また、すべてのこどもに保障される権利のほかに、難民や少数民族のこども、障がいのあるこどもなど、特に配慮が必要なこどもの権利についても定めています。

「子どもの権利条約」子どもの権利は大きく分けて4つ



(出典：公益財団法人日本ユニセフ協会ホームページ)

こんな時は、どうすればいいの？

友達から「いじめ」にあって学校に行きたくない、家の人にいやなことをされる、部活動で暴言・暴力を受けているなど、先生や親には話しくいけど、このままではどうしていいかわからない、誰も気づいてくれない…。

このような悩みがあったら、迷わず電話してください。「周りでこんなことで困っている人がいる」という相談でも大丈夫です。

こどもの人権110番(全国共通・無料) ☎ 0120-007-110

注1)一部のIP電話からは接続できません。接続できない場合にはこちらの電話番号をご利用ください。

徳島地方務局 088-622-8110 (通話料有料)

注2)法務局の職員又は人権擁護委員が、「こどもの人権110番」又はこれに類似する名称を用いて、個人情報を収集するようなことは一切行っておりません。法務局等からの電話に心当たりのない場合は、十分ご注意願います。

注3)「こどもの人権110番」へご相談いただく際の電話番号のかけ間違いが多数発生しています。ご相談の際は、今一度電話番号をご確認いただき、おかけ間違いのないようお願いいたします。

◇ 全国一斉「こどもの人権110番」強化週間 ◇

徳島県地方務局と徳島県人権擁護委員連合会では、学校等における「いじめ」、「体罰」や家庭内における児童虐待など、こどもの人権問題解消に向けて開設している「こどもの人権110番」電話相談について、下記のとおり強化週間を実施します。期間中は相談時間を延長するとともに、土・日も電話相談をお受けします。通話料無料で相談できるので、いじめなどに限らず学校や家庭、友達関係の悩みごとなど、何でもご相談ください。

○実施期間：令和5年8月23日(水)から8月29日(火)までの7日間 月曜日～金曜日：8:30～19:00まで / 土曜日・日曜日：10:00～17:00まで / 強化週間以外の日は平日の8:30～17:15まで

○電話で相談 こどもの人権110番 ☎ 0120-007-110 (全国共通・無料)

○メールで相談 こどもの人権 SOSe メール <https://www.jinken.go.jp/kodomo>

町民一人ひとりが相手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会をめざしましょう。

「心温かい人々が暮らす、にぎやかな過疎の町」美波町であり続けるために人権について考え守っていくことがまさに、「にぎやかさ」美波町まちづくりにつながります。このコーナーでは人権に対する思いを掲載していきます。

ウミガメ No.20 News Letter

博物館のバックヤード

現在、日和佐うみがめ博物館カレッタは、展示リニューアル工事の為、一時閉館させて頂いています。「お客さんが来ないから、閉館中は仕事がないの?」と聞かれますが、そんなことはありません。リニューアルに向けて、様々な情報収集、企画立案、新しい展示物の準備、古い資料などの整理、改修工事に向けての大掃除に加えて、いつも通りにカメ達のお世話など、いつも以上に忙しい毎日です。そこで今回は、博物館の仕事についてお話します。博物館の仕事を大まかに説明しますと、博物館の「目的」に合わせて、「調査と研究」を行い、そこから得られた「資料の整理と保存」をして、それらの資料を「展示と解説」によって来館者に見て頂くという事になります。次に、博物館の仕事場についてです。博物館には、来館者に見て頂く「展示スペース」のほかに、「バックヤード」と

呼ぶ展示物の作成、補修、保管を行う作業場所があります。「バックヤード」は通常、公開していませんが、博物館の心臓部とも言える場所で、「バックヤード」を見ればその博物館の実力が判るとも言われる場所です。現在、カレッタでは、リニューアルに向けて「バックヤード」に収蔵されている資料の確認をしています。残念ながら、無造作に押し込められた物が多く、ほぼ「物置場」の様相でした。しかし、一つずつ収蔵物の確認を進めると、カレッタにとっては貴重な「お宝」が埋もれていることがわかりました。今後は、カレッタの「バックヤード」が再び「物置場」にならないように「収蔵物」を整理・保管し、後の世代に引き継げるようにしたいと思います。また、カレッタでは生きたカメ達も展示していますので、そのエサを保存する冷凍冷蔵庫、切り分ける調餌場、お世話をする器具類を管理する場所も「バックヤード」になります。ここについても、今回のリニューアルで新しく作り直す計画です。リニューアルが完了した後は、「バックヤードツアー」を企画して、カレッタの職員体験ができるようなプログラムも考えておりますのでお楽しみに。(館長：平手康市)

うみがめについての質問をお送りください。お答えします!
〒779-2304 徳島県海部郡美波町日和佐 浦369 うみがめ博物館カレッタ「質問係」



応募フォーム

Question

ウミガメの甲羅はどうやって大きくなるの?

Answer

甲羅は、背骨と肋骨が板状に変化した骨とその上に鱗板(ツメの様な物)がかぶさって出来ています。骨は私たちと同じ様に体の中で大きくなり、鱗板は私たちのツメが伸びるように大きくなります。

みなみの海のいきもの図鑑

太平洋に面する美波町では多くの生き物たちが生息しています。このコーナーでは実際に撮影してきたリアルな写真と共にいろんな生き物たちをご紹介します!

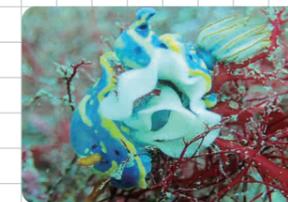


ウミウシの産卵

春から夏にかけて岩礁の表面や海藻に、クルクル巻いたりリボン状のものがみられます。これはウミウシの卵塊で、ダイバーの中では海リボンとも呼ばれています。日和佐の海では5月頃に多く見られます。ウミウシは1匹の体の中にオスとメス両方の機能を備えていて、両性生殖腺という器官を持っているので精子と卵子を作ることができます。なので2匹が出会えばお互いの精子を交換(交配)して受精し、どちらも産卵することができるのです。(ダイバー：長楽美保)



交配中のアオウミウシ(左)とサラサウミウシ(右) 体の右側から交接器を出してお互いの精子を交換している様子。



産卵中のアオウミウシ(左)とサラサウミウシ(右)